

2022年3月期 第2四半期 決算説明会

2021年11月15日

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション



2022年3月期 第2四半期決算状況

1. 売上高・利益	4
2. セグメント別業績	6
・自動車電池（国内）	9
・自動車電池（海外）	11
・産業電池電源	13
・車載用リチウムイオン電池	14
・特殊電池およびその他	15
3. 貸借対照表	16
4. キャッシュ・フロー計算書	17
5. 設備投資・減価償却費・研究開発費	18
6. 連結業績予想の修正	19

車載用鉛蓄電池／リチウムイオン電池の展望

1. 車載用鉛蓄電池／リチウムイオン電池の概要 ...	22
2. 地域別の内燃機車／電動車販売予測	23
3. 車載用鉛蓄電池の戦略	24
4. 車載用リチウムイオン電池の戦略	25

次世代電池の研究開発

1. ポストリチウムイオン電池の開発状況.....	27
2. 全固体電池の研究開発体制	28
3. 全固体電池の開発状況	29
4. NEDO航空機用プロジェクトの進捗	30

2022年3月期 第2四半期決算状況

1. 売上高・利益 (第2四半期 累計)



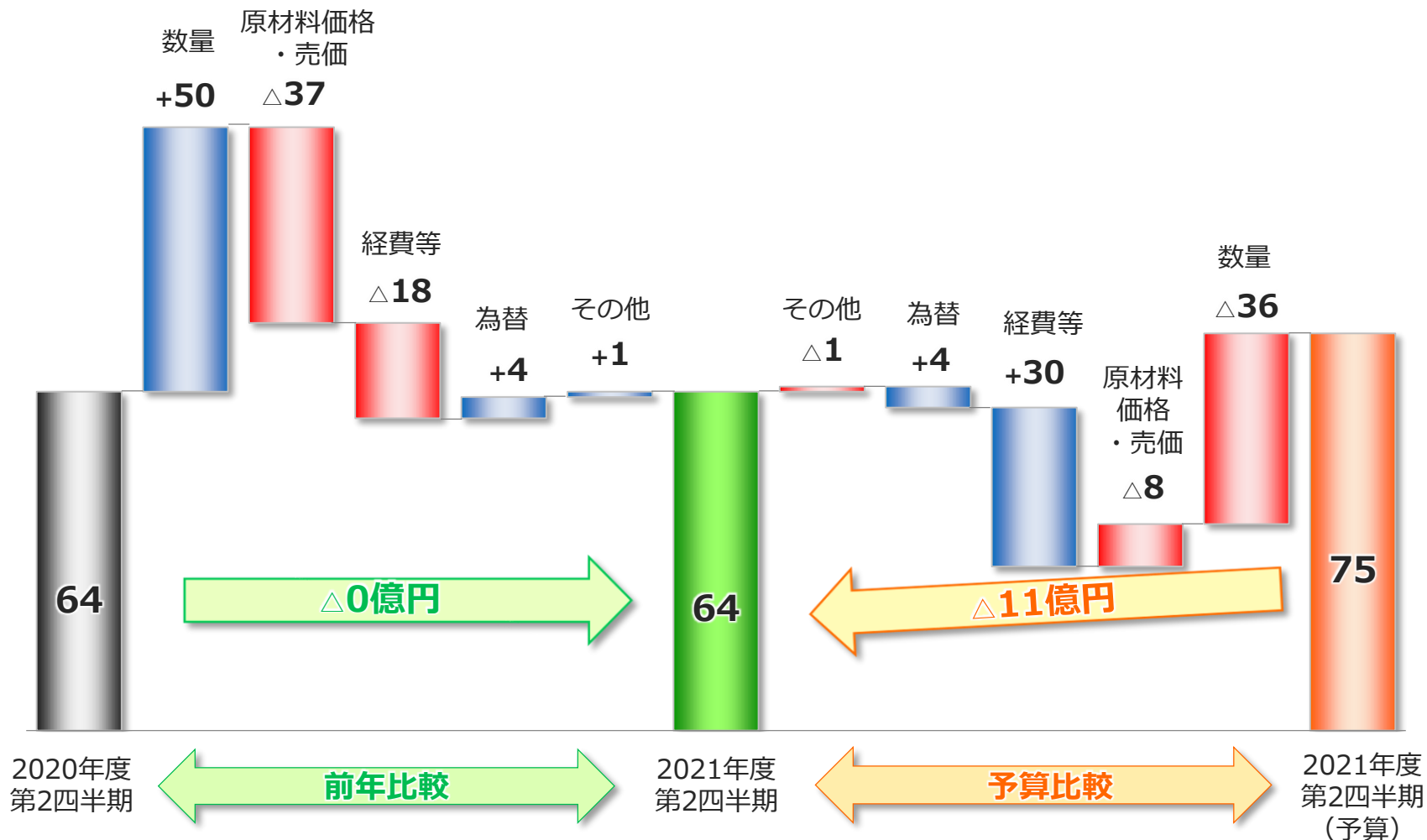
(億円)

	2020 年度 第2四半期 (累計)	2021 年度 第2四半期 (累計)	増減	(前期比)
売上高	1,723	1,951	+228	(+13.2%)
営業利益 (営業利益率)	53 3.1%	52 2.7%	△1 △0.4P	(△1.3%)
のれん等償却前営業利益 (のれん等償却前営業利益率)	64 3.7%	64 3.3%	△0 △0.4P	
経常利益	65	66	+1	(+1.1%)
特別利益	0	15	+15	
特別損失	31	17	△14	
税前四半期純利益	34	64	+30	
法人税等	33	21	△12	
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	22	+22	
親会社株主に帰属する四半期純利益 (四半期純利益率)	1 0.1%	22 1.1%	+21 +1.0P	(-)
のれん等償却前 親会社株主に帰属する四半期純利益 (のれん等償却前四半期純利益率)	12 0.7%	32 1.6%	+20 +0.9P	
国内鉛建値 (万円/t)	25.29	30.52	+5.23	
L M E (US\$/t)	1,773	2,234	+461	
為替 (円/US\$)	106.32	110.10	+3.78	

1. 売上高・利益 (第2四半期 累計)

営業利益増減要因 (前年・予算比較)

(億円)



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益です。

2. セグメント別業績 (第2四半期 **累計**)



(億円)

		2020 年度 第2四半期 (累計)		2021 年度 第2四半期 (累計)		増減	
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:P)
自動車電池	国内	359	27 (7.4)	352	18 (5.0)	△7	△9 (△2.4)
	海外	781	53 (6.8)	876	43 (4.9)	+95	△10 (△1.9)
産業電池電源		355	2 (0.5)	460	△2 (△0.3)	+105	△4 (△0.8)
車載用リチウムイオン電池		141	△19 (△13.1)	184	2 (0.9)	+43	+21 (+14.0)
特殊電池およびその他		87	1 (1.4)	79	2 (2.9)	△8	+1 (+1.5)
合計		1,723	64 (3.7)	1,951	64 (3.3)	+228	△0 (△0.4)

(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

参考. 売上高・利益 (第2四半期 3ヶ月計)



(億円)

	2020 年度 第2四半期 (3ヶ月計)	2021 年度 第2四半期 (3ヶ月計)	増減	(前期比)
売上高	959	997	+38	(+3.9%)
営業利益 (営業利益率)	43 4.5%	20 2.0%	△23 △2.5P	(△53.0%)
のれん等償却前営業利益 (のれん等償却前営業利益率)	49 5.1%	26 2.6%	△23 △2.5P	
経常利益	48	23	△25	(△52.1%)
特別利益	0	0	+0	
特別損失	29	11	△18	
税前四半期純利益	19	12	△7	
法人税等	21	8	△13	
非支配株主に帰属する四半期純利益	△4	9	+13	
親会社株主に帰属する四半期純利益 (四半期純利益率)	1 0.2%	△5 △0.5%	△6 △0.7P	(-)
のれん等償却前 親会社株主に帰属する四半期純利益 (のれん等償却前四半期純利益率)	7 0.7%	0 0.0%	△7 △0.7P	
国内鉛建値 (万円/t)	26.30	31.91	+5.61	
L M E (US\$/t)	1,876	2,341	+465	
為替 (円/US\$)	105.26	110.44	+5.18	

参考. セグメント別業績 (第2四半期 3ヶ月計)



(億円)

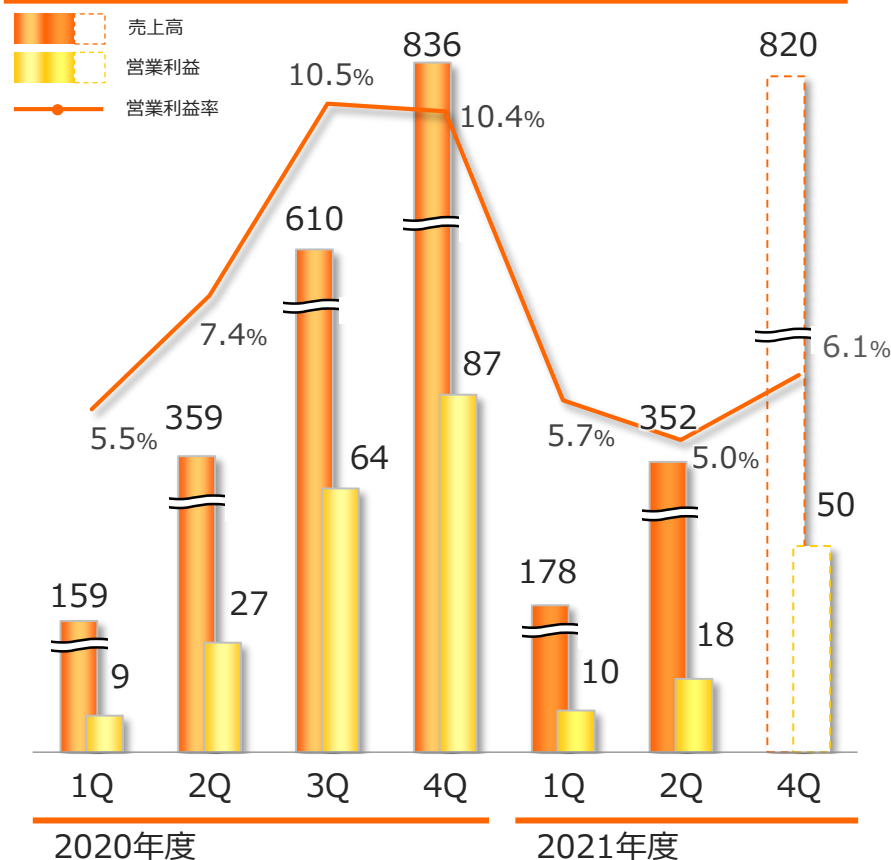
		2020 年度 第2四半期 (3ヶ月計)		2021 年度 第2四半期 (3ヶ月計)		増減	
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:P)
自動車電池	国内	200	18 (8.8)	174	8 (4.4)	△26	△10 (△4.4)
	海外	413	32 (7.7)	428	14 (3.2)	+15	△18 (△4.5)
産業電池電源		208	5 (2.3)	261	5 (1.8)	+53	△0 (△0.5)
車載用リチウムイオン電池		95	△7 (△7.1)	95	0 (0.1)	+0	+7 (+7.2)
特殊電池およびその他		44	1 (2.4)	38	△0 (△1.0)	△6	△1 (△3.4)
合計		959	49 (5.1)	997	26 (2.6)	+38	△23 (△2.5)

(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

2. セグメント別業績（自動車電池（国内））

自動車電池（国内）

売上高・営業利益・利益率



減収減益

(億円)

2021年度 第2四半期商況

- ▶ 新車向け販売数量は新型コロナ影響による前期の大幅減少から回復したものの、半導体不足などによる新車メーカー減産の影響を受け微増にとどまった
- ▶ 補修向け販売数量は前期からの好調な状況が継続
- ▶ 半導体不足の影響により仕入販売しているカーナビなど電装品の販売が減少

増減益要因

数量・構成変化	+7
鉛価格・売価	△14
合理化・経費等	△2

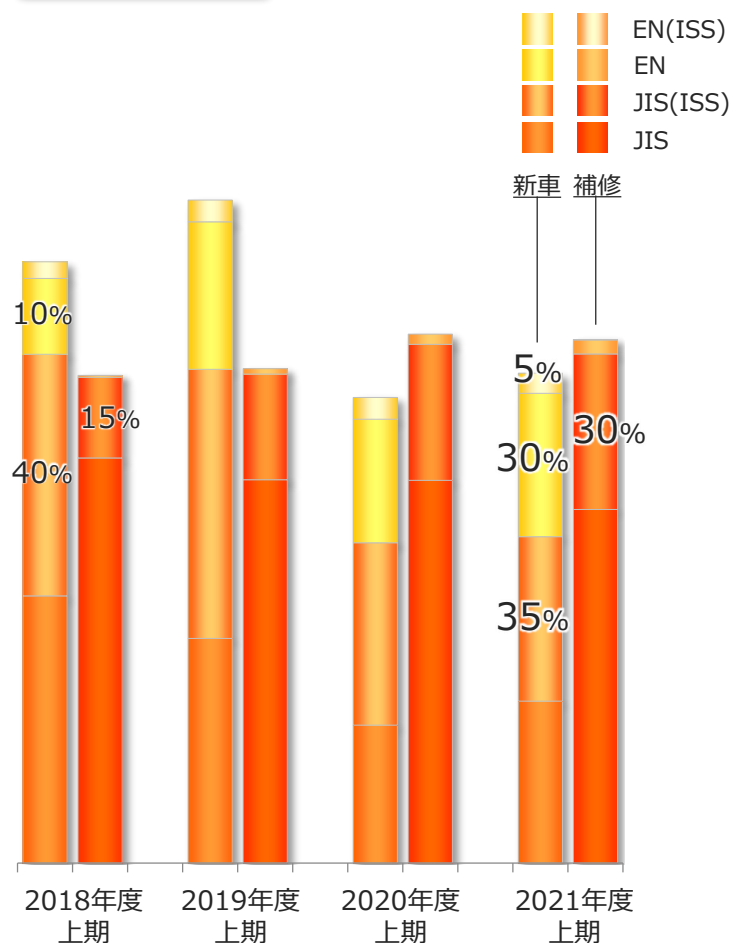
(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

2. セグメント別業績（自動車電池（国内））

新車・補修向け出荷割合／シェア



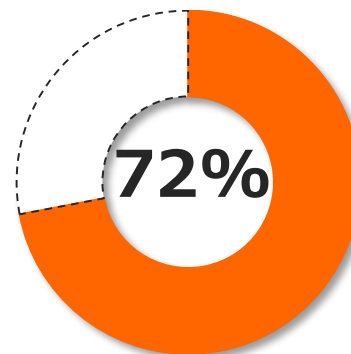
出荷割合



シェア（2021年度上期／グループ合計）

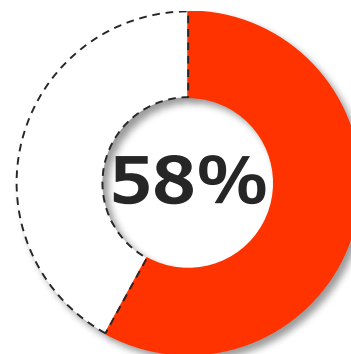
新車向け

72%
(2019年度上期)



補修向け

57%
(2019年度上期)

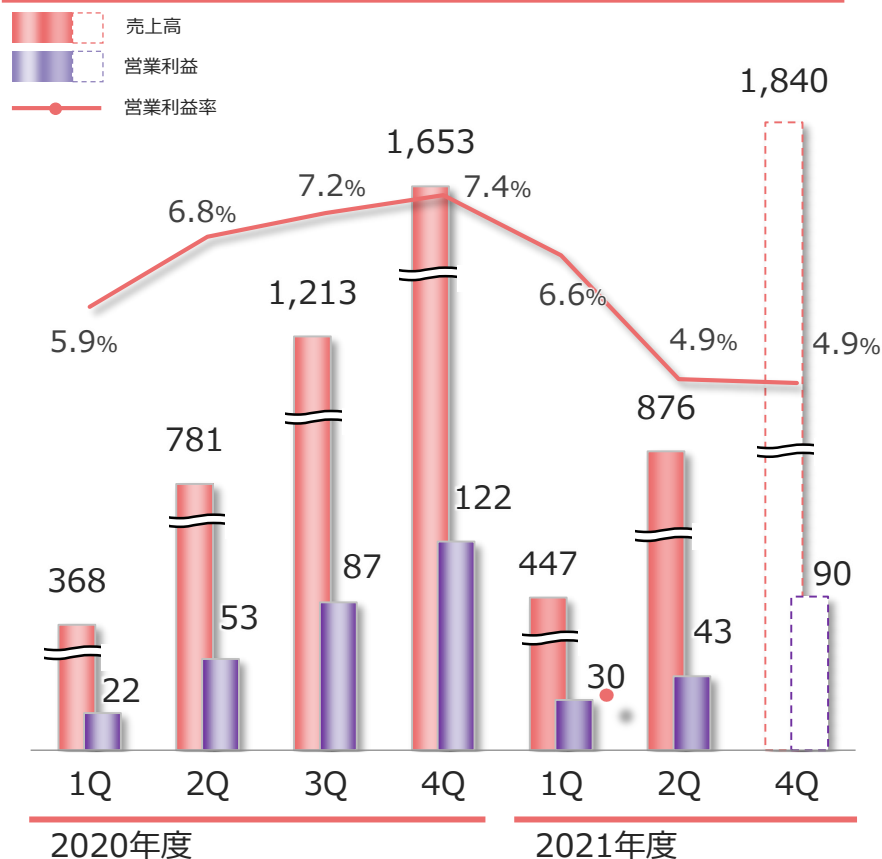


(注) 自社調べ（輸入電池含まず）

2. セグメント別業績（自動車電池（海外））

自動車電池（海外）

売上高・営業利益・利益率



増収減益

(億円)

2021年度 第2四半期商況

- ▶ ベトナムは2Qより新型コロナ影響により販売数量が減少、インドネシア、タイの自動車・オートバイ用販売数量が増加
- ▶ 欧州では補修向け販売数量が増加
- ▶ 中国では補修向け競争環境が激化
- ▶ 円安の影響、鉛価格上昇に伴う販売価格上昇の影響により売上高が増加

増減益要因

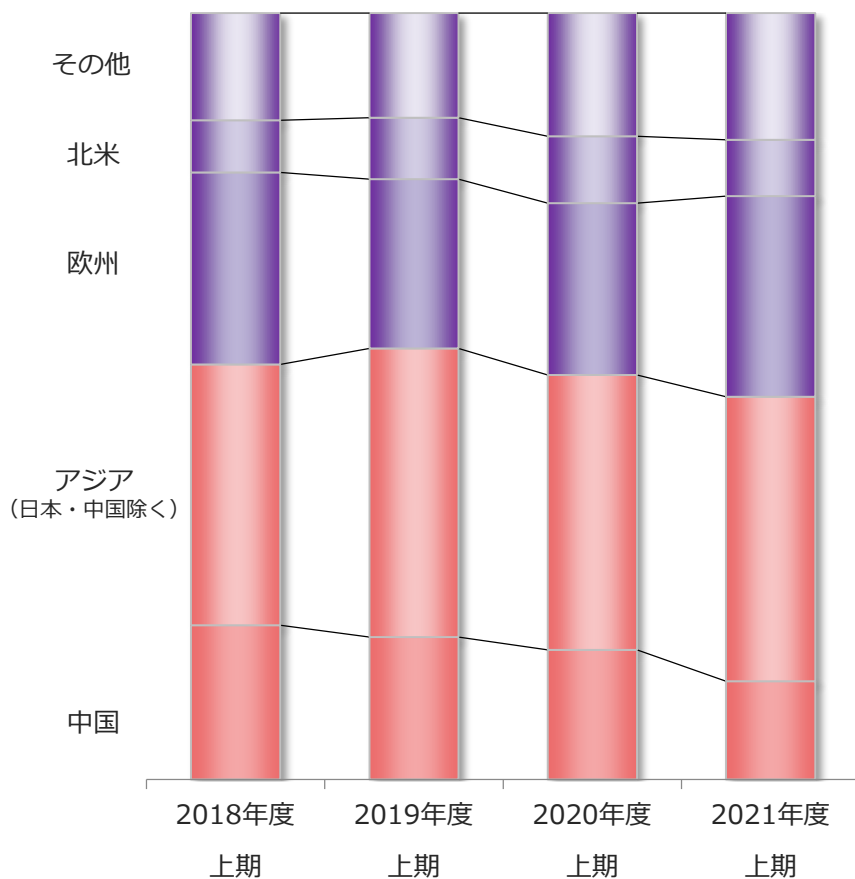
数量・構成変化	+16
鉛価格・売価	△13
合理化・経費等	△17
為替	+4

2. セグメント別業績（自動車電池（海外））

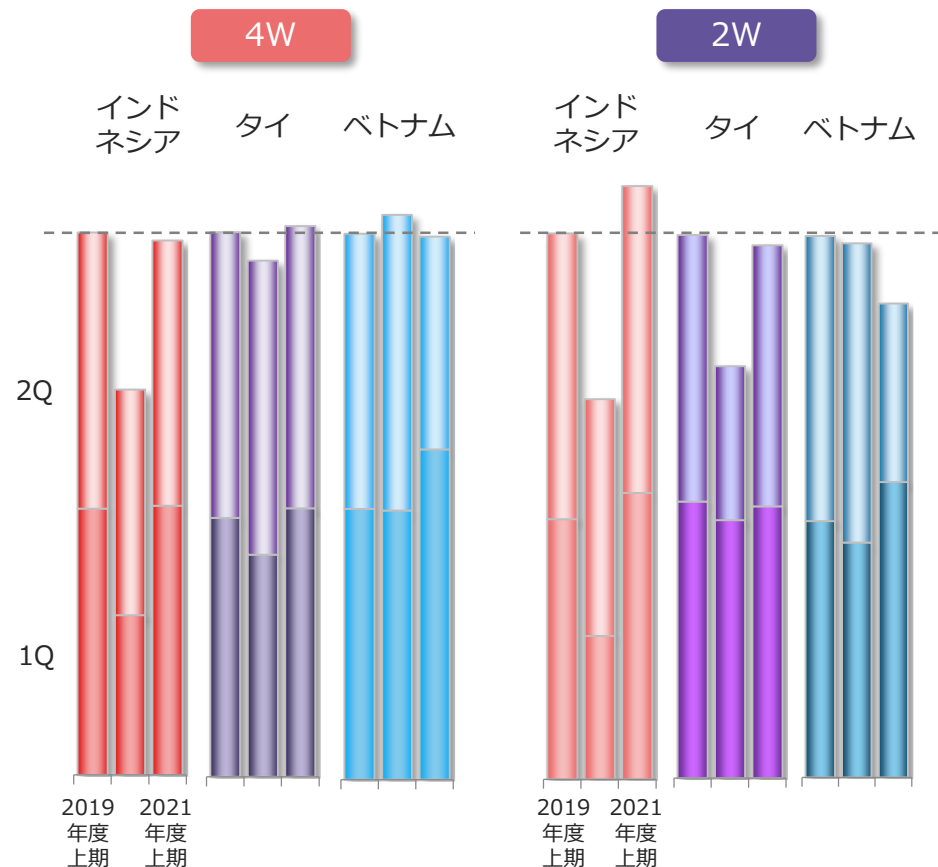
地域別売上高／インドネシア・タイ・ベトナムの出荷割合



地域別売上高（産業用含む）



インドネシア・タイ・ベトナムの出荷割合

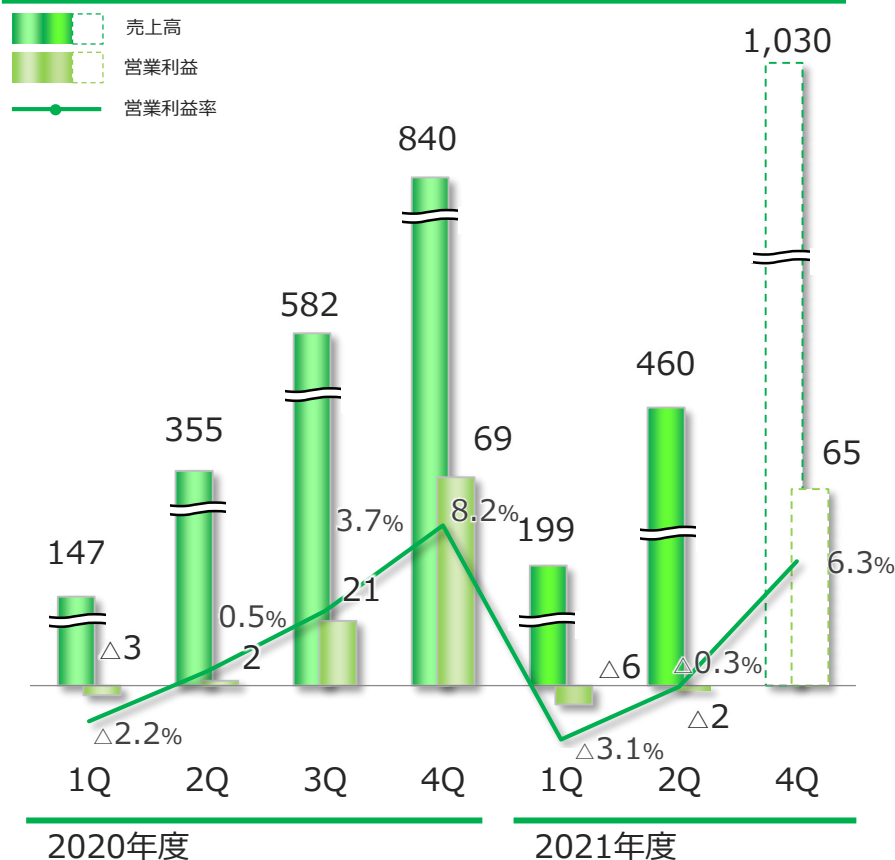


(注) 持分法適用会社含む

2. セグメント別業績 (産業電池電源)

産業電池電源

売上高・営業利益・利益率



増収減益

(億円)

2021年度 第2四半期商況

- ▶ 大型風力発電用リチウムイオン電池の納入がピーク
- ▶ バックアップ用電池電源装置が新型コロナ影響から回復
- ▶ サンケン電気の社会システム事業譲受により連結対象に追加

増減益要因

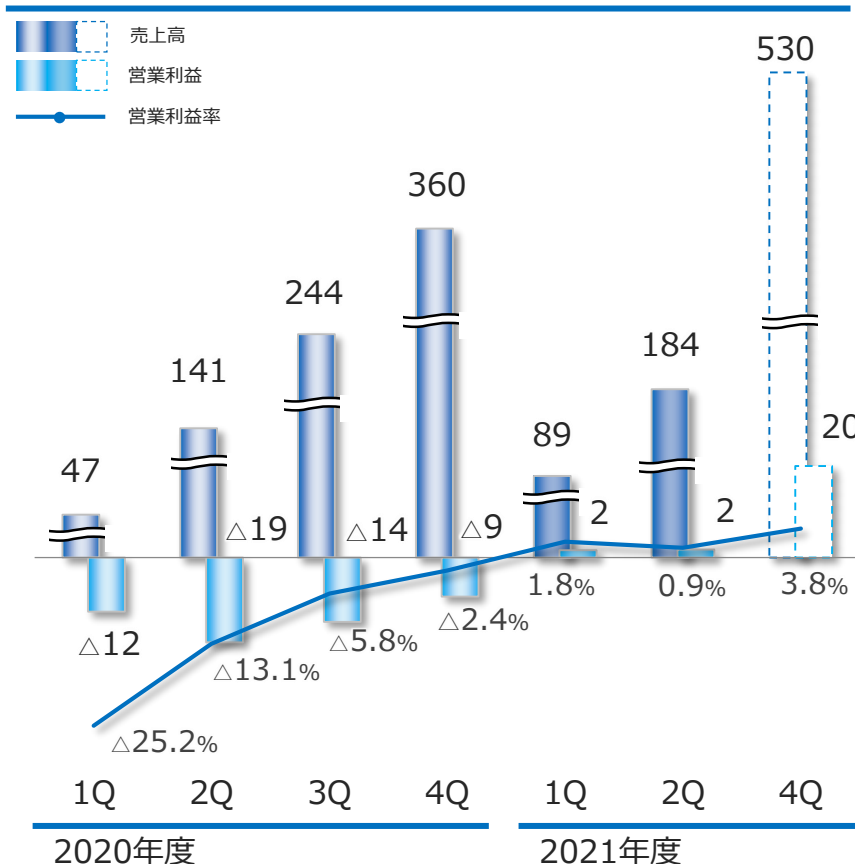
数量・構成変化	+3
鉛価格・売価	△3
合理化・経費等	△4

2. セグメント別業績 (車載用リチウムイオン電池)

車載用リチウムイオン電池

増収増益

売上高・営業利益・利益率



(億円)

2021年度 第2四半期商況

- ▶ [リチウムエナジー ジャパン (LEJ)]
プラグインハイブリッド車用リチウムイオン電池の搭載車種は販売が好調
- ▶ [ブルーエナジー (BEC)]
ハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売数量は前期からのトヨタ自動車との取引開始、また採用車種の拡大により増加

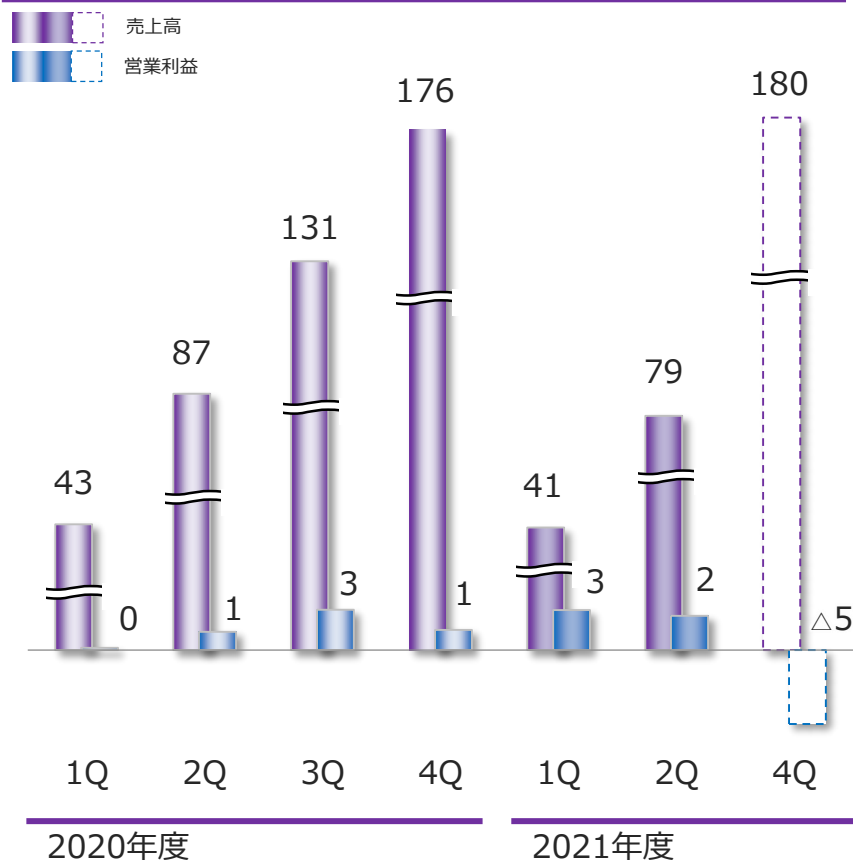
増減益要因

- BECは販売数量増加の影響により増益
- LEJは販売数量の回復ならびに償却費負担の減少などにより増益

2. セグメント別業績 (特殊電池およびその他)

特殊電池およびその他

売上高・営業利益



減収増益

(億円)

2021年度 第2四半期商況

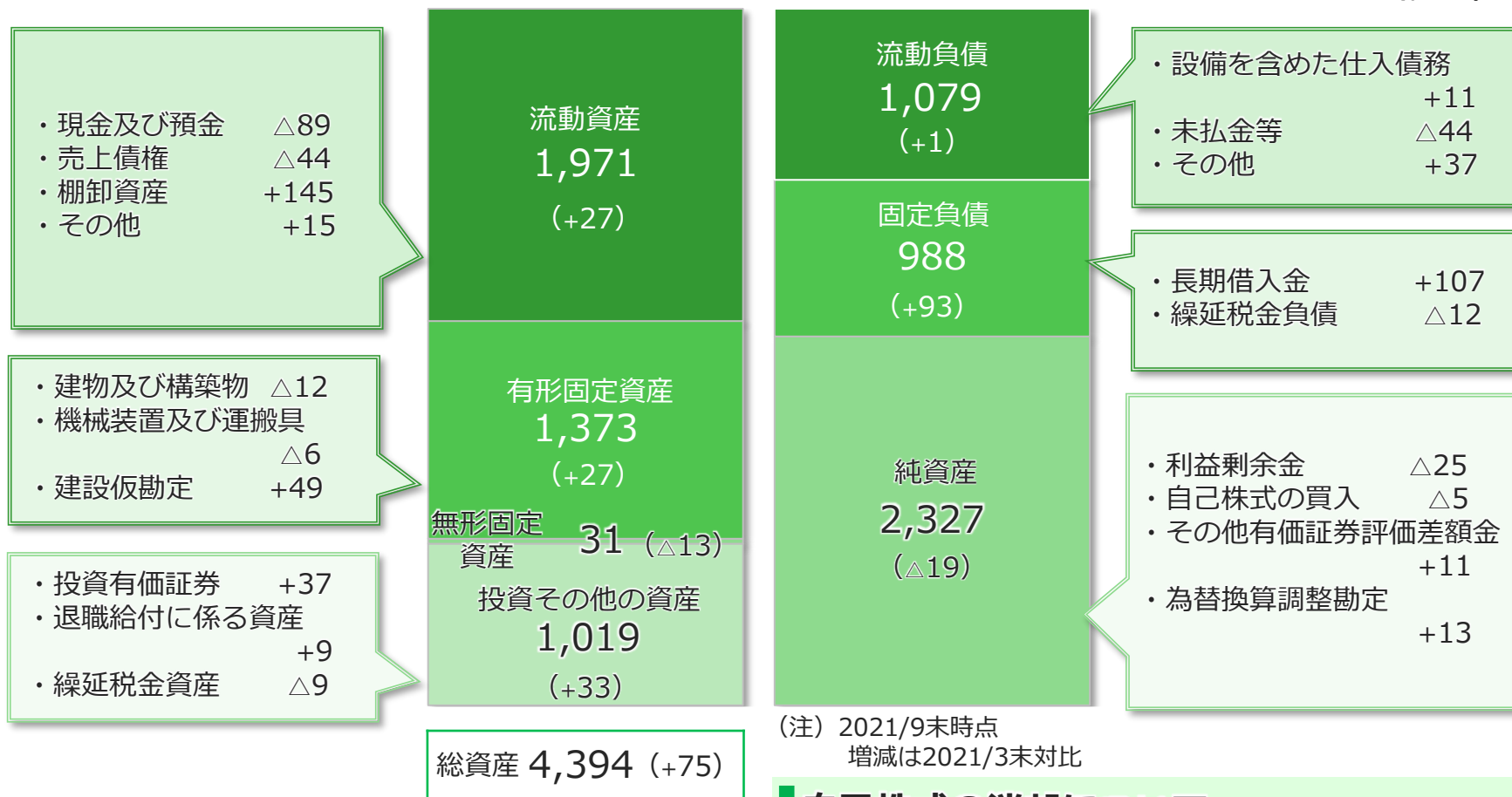
- 潜水艦用リチウムイオン電池の売上高は工事進行基準の関係で微減
- 航空機用リチウムイオン電池の販売は機体メーカー向けは減少しているものの、エアライン（補修）向けでカバー

増減益要因

経費の減少により増益

3. 貸借対照表

(億円)



	2021/3末	2021/9末
自己資本比率	46.8%	45.9%
借入金総額	654億円	759億円

自己株式の消却について

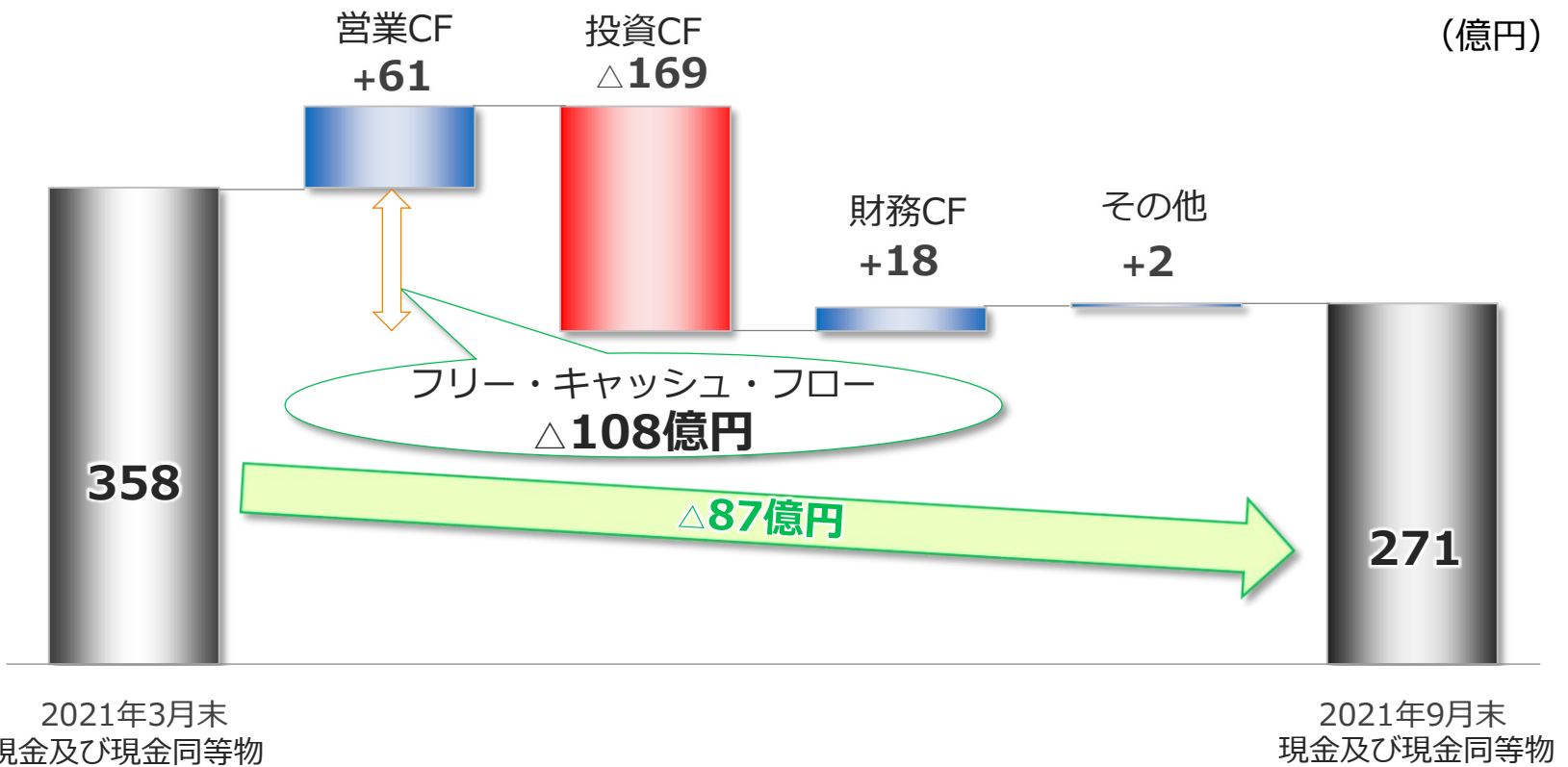
【消却の目的】

中長期的な株主価値の向上を図る

【消却株式の概要】

- 2,115,500株 (2.56%)
- 2021年11月30日

4. キャッシュ・フロー計算書



ポイント

- 税前利益64億円や減価償却費により営業CFは61億円を確保できたものの、BEC第二工場への設備投資によりフリー・キャッシュ・フローはΔ108億円となった。設備投資および株主還元に充当するため、現金及び現金同等物の取り崩しおよび長期借入を実施した。

5. 設備投資・減価償却費・研究開発費



(億円)

		2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	2020年度 通期	2021年度 通期 (予想)
設備投資額		88	133	232	350
自動車電池	国内	13	17	25	40
	海外	24	23	51	50
産業電池電源		5	6	14	20
車載用リチウムイオン電池		10	28	57	160
特殊電池およびその他		36	60	85	80
減価償却費		83	83	162	180
うち、車載用リチウムイオン電池		19	15	34	35
研究開発費		51	61	112	120
(売上高研究開発費率)		2.9%	3.1%	2.9%	2.7%

6. 連結業績予想の修正

	2020年度 実績	2021年度 当初予想 (A)	2021年度 修正予想 (B)	(億円) 増減 ((B)-(A))	
売上高	3,865	4,300	4,400	+100	
営業利益 (営業利益率)	248 6.4%	240 5.6%	210 4.8%	△30 △0.8P	
のれん等償却前営業利益 (のれん等償却前営業利益率)	271 7.0%	250 5.8%	220 5.0%	△30 △0.8P	
経常利益	273	260	240	△20	
親会社株主に帰属する当期純利益 (当期純利益率)	115 3.0%	120 2.8%	110 2.5%	△10 △0.3P	
のれん等償却前 親会社株主に帰属する当期純利益 (のれん等償却前当期純利益率)	135 3.5%	130 3.0%	120 2.7%	△10 △0.3P	
前提条件	国内鉛建値 (万円/t)	26.09	28.0	31.0	+3.0
	LME (US\$/t)	1,867	2,000	2,200	+200
	為替 (円/US\$)	105.94	105.0	110.0	+5.0

修正の理由

- 売上高は、主として為替の円安影響を見込み100億円の上方修正。
- 営業利益は、鉛を主とした原材料価格高騰の影響を踏まえ30億円の下方修正。

6. 連結業績予想の修正

(億円)

		2020 年度 実績		2021 年度 当初予想 (A)		2021 年度 修正予想 (B)		増減 ((B)-(A))	
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益
自動車 電池	国内	836	87 (10.4)	830	65 (7.8)	820	50 (6.1)	△10	△15
	海外	1,653	122 (7.4)	1,760	100 (5.7)	1,840	90 (4.9)	+80	△10
産業電池電源		840	69 (8.2)	1,020	75 (7.4)	1,030	65 (6.3)	+10	△10
車載用リチウム イオン電池		360	△9 (△2.4)	510	10 (2.0)	530	20 (3.8)	+20	+10
特殊電池 およびその他		176	1 (0.8)	180	0 (-)	180	△5 (△2.8)	-	△5
合計		3,865	271 (7.0)	4,300	250 (5.8)	4,400	220 (5.0)	+100	△30

(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

車載用鉛蓄電池／リチウムイオン電池の展望

1. 車載用鉛蓄電池／リチウムイオン電池の概要

自動車の鉛蓄電池／リチウムイオン電池の全体像



純粋持株会社

ジーエス・ユアサ コーポレーション

事業会社

GSユアサ

自動車電池事業

鉛



国内外で自動車・オートバイ用鉛蓄電池の製造・販売

車載用リチウムイオン電池事業

リチウム



EV・PHEV・HEVに搭載される車載用リチウムイオン電池の製造・販売

車種別電池の用途



用途／車種	ICE	HEV	PHEV	EV
駆動用 (アシスト含む)		リチウム		
エンジン始動用	鉛 or 12V LiB			
補機用 (システム起動・12V電装)		鉛 or 12V LiB		
冗長用 (自動運転バックアップ)	12V LiB			

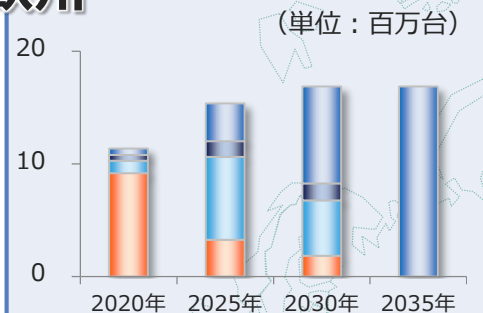
2. 地域別の内燃機車／電動車販売予測

地域別の新車販売予測

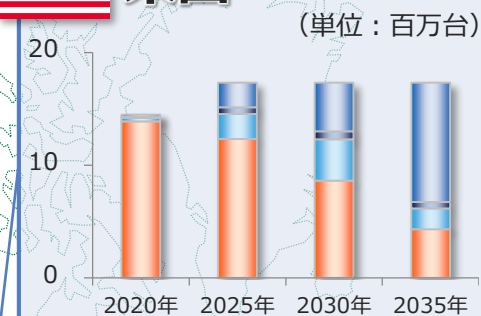


ICE HEV PHEV EV

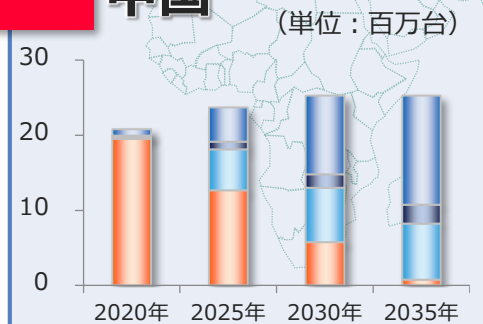
欧州



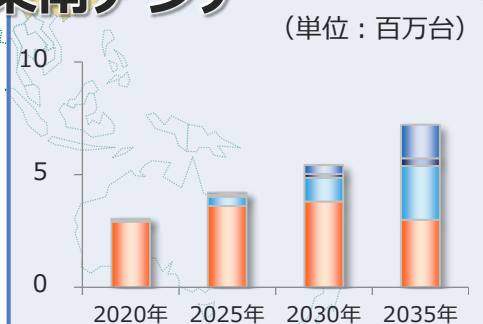
米国



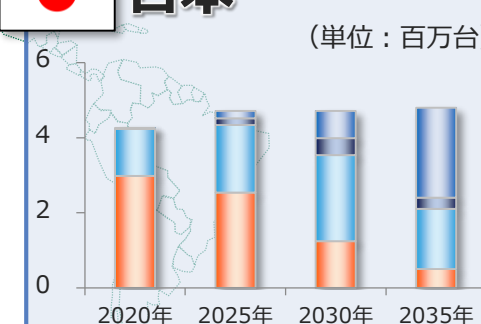
中国



東南アジア



日本



(注) 証券会社各社資料から当社推定

3. 車載用鉛蓄電池の戦略

電動化の進展に伴う補機用需要の増加への対応



補機用の増加への対応

- EVを始めとした電動車でも必ず搭載される補機用が増加



日本・欧州・中国を中心とした
新車向け／補修向け需要の獲得

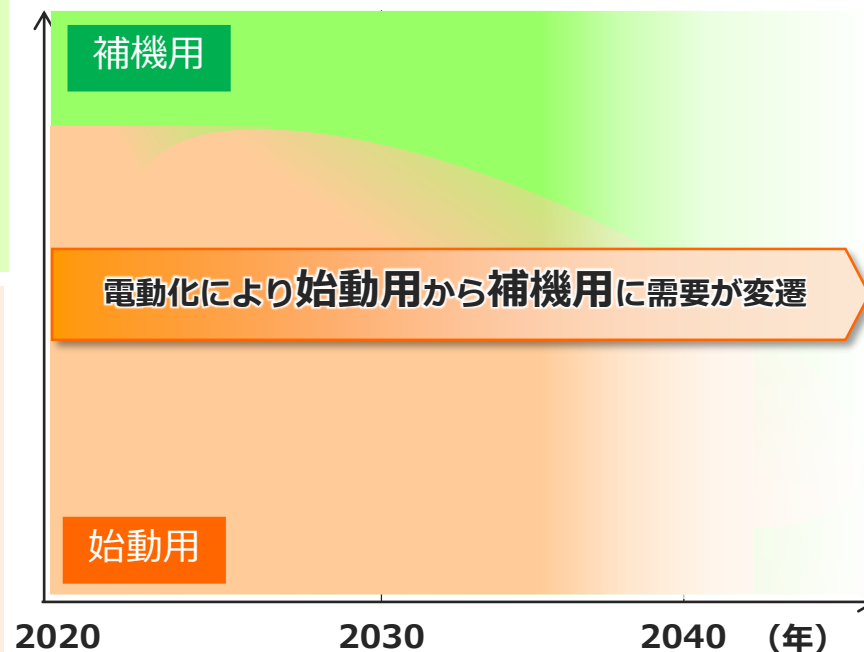
始動用の減少への対応

- 地域差はあるものの電動化に伴い徐々に新車向け始動用が減少



アセアンを中心としてICEが残る地域の
新車向け／補修向け需要の獲得

補機用電池の需要遷移イメージ



4. 車載用リチウムイオン電池の戦略

車載用リチウムイオン電池の戦略とEVへの開発リソースの投入



EV用LiBへの本格参入に向けて

- ・欧州を中心にICEおよびHEV規制がグローバルに波及することでEVが急拡大



本格参入に向けて開発リソースを投入

HEV用LiBの増産対応

- ・日系自動車メーカーを中心に30年代半ばまではHEV中心



BEC第2工場により**生産能力を拡大**して日系自動車メーカーの需要に対応

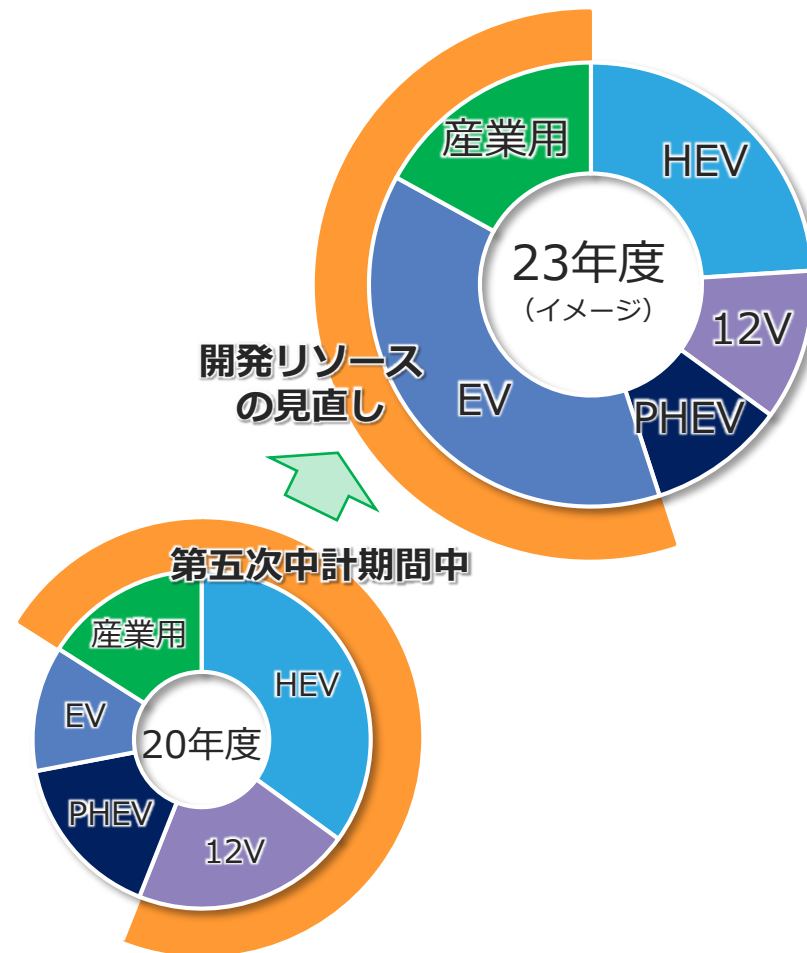
12V LiB (始動用・補機用) の対応

- ・欧州ELV指令により鉛蓄電池が規制
- ・将来は自動運転の普及により冗長用が拡大



ハンガリーからの納入と、自動運転の普及に合わせた需要対応

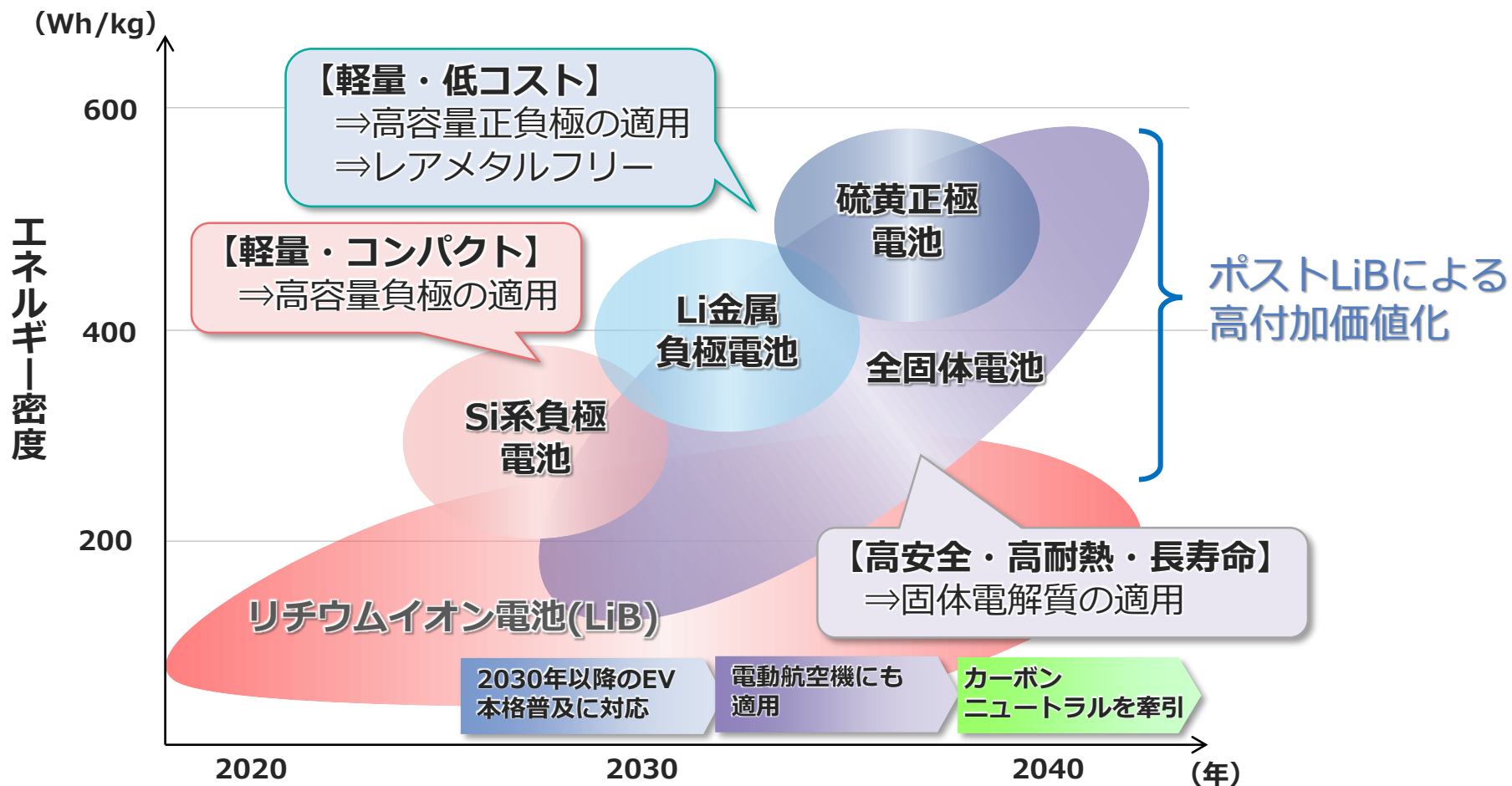
開発リソースの配分イメージ



次世代電池の研究開発

1. ポストリチウムイオン電池の開発状況

ポストリチウムイオン電池の開発ロードマップ



2. 全固体電池の研究開発体制

全固体電池の研究開発体制



LIBTEC (リブテック)

技術研究組合リチウムイオン電池
材料評価研究センター

共同研究

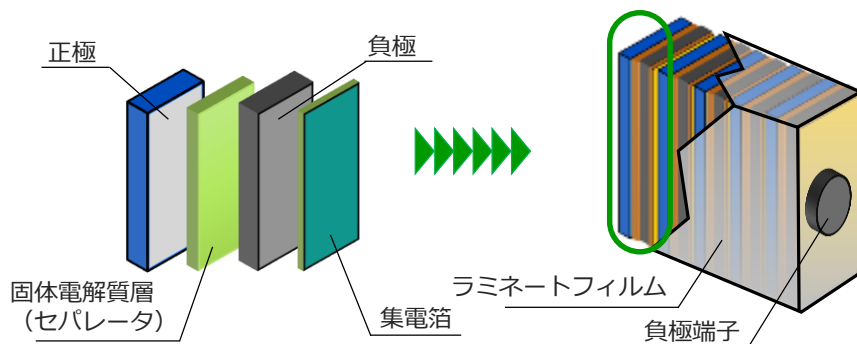
自動車メーカー

部材メーカー

電池メーカー



【全固体LiB】



全固体電池の研究開発体制

- LIBTECで日系自動車メーカーや部材メーカー、電池メーカーと共同研究
- GSユアサ独自の研究開発

研究開発の目的

- オールジャパンでの研究による中韓メーカーに対する優位性の確保
- 日系自動車メーカーの求める性能にあった電池の研究開発

3. 全固体電池の開発状況

全固体電池の開発状況



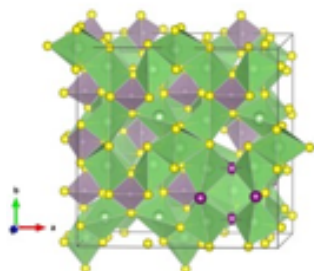
【実用化に向けた主な技術的課題】

- ① 固体電解質のイオン伝導度の向上
- ② 硫化物系固体電解質の耐水性の向上
- ③ 固体電解質と活物質との界面抵抗の低減
- ④ 固体電解質の耐電位性の向上

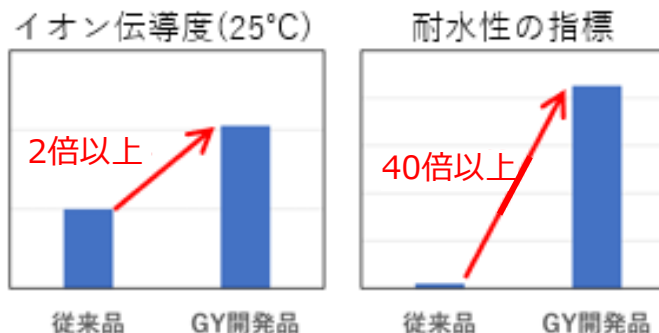
【GSユアサの成果】

大きく改善

計算化学を適用した当社独自の研究において、**新規の硫化物系固体電解質を開発**
⇒電池の性能向上や生産コスト低減が期待でき、**全固体の実用化**に貢献



計算化学
→
実験化学



2020年代後半に特殊用途からの実用化を目指す

4. NEDO航空機プロジェクトの進捗

NEDO航空機用先進システム実用化プロジェクトの進捗



リチウム硫黄電池外観写真
(電池容量: 8 Ah)

2019年 経済産業省とボーイング社が
将来の航空機の技術協力にて合意

中間目標

2021年 エネルギー密度**400Wh/kg**級

2019年 NEDO PJによる軽量蓄電池の開発を開始

2011年 シリコン-硫黄電池の開発に着手

本資料は、当社グループの業績等についての一般的な情報提供を目的とするものです。本書に含まれる予測、予想、計画その他の将来情報は、当社において利用可能な情報に基づく現時点における当社の認識又は判断に基づくものであり、実際の結果はこれらの情報と大きく異なることがあります。また、当社は、本資料に記載された情報に変更又は更新があった場合にも、その内容を提供又は開示する義務を負うものではありません。



連絡先

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション
コーポレート室（広報） 青木 裕 ・ 西島 務 ・ 田中 祥太
Tel : 075-312-1214
<https://www.gs-yuasa.com/jp>

參考資料

CSR活動に対する社外からの評価

CSR評価

	MSCI (米) ^{※1} ESG格付け (2021年3月時点)	東洋経済新報社 ^{※2} CSR評価 (2020年11月時点)				CDP (英) 評価 ^{※3}
		人材活用	環境	企業統治	社会性	
2021年	A	AAA	AAA	AA	AA	B ^{※4}
2020年	A	AA	AAA	AA	AA	B
2019年	A	AA	AA	AA	AA	B
2018年	AA	AA	AA	AA	AA	B-
2017年	AA	AA	AA	AA	AA	C

※1 MSCI (米) ESG格付けはジャパンESGセレクトリーダーズ指数によるものであり、「AAA、AA、A、BBB、BB、B、CCC」の7段階評価

※2 東洋経済新報社CSR評価は「AAA、AA、A、B、C」の5段階評価

※3 CDPは「A、A-、B、B-、C、C-、D、D-」の8段階評価

※4 2021年の評価はまだ公表されていないため、2020年の結果を記載

CSRへの取り組みに対する評価、認定、表彰



➤ 経済産業省の「健康経営優良法人2021」に認定

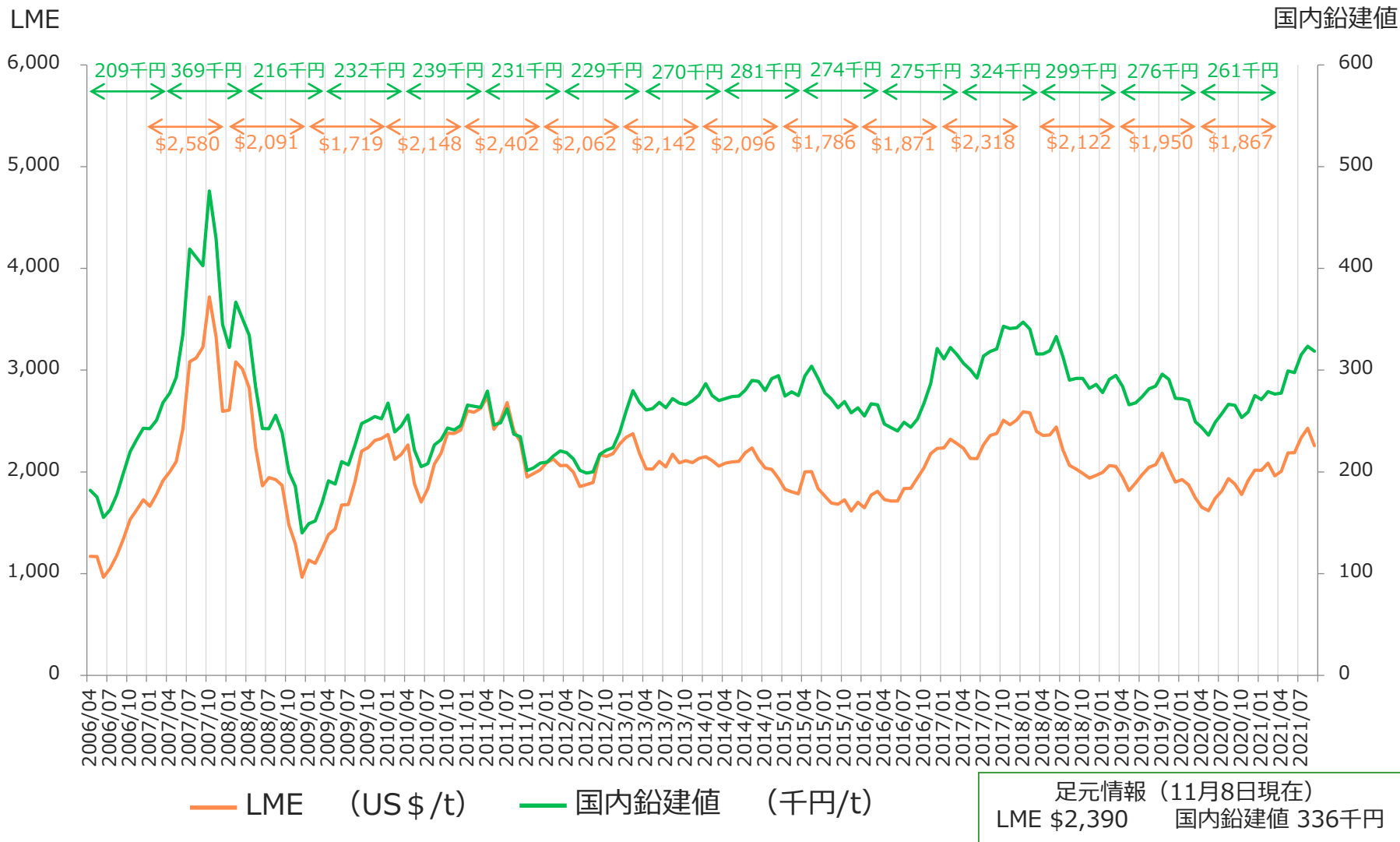


➤ 厚生労働省の「子育てサポート企業」として「プラチナくるみんマーク」認定を取得



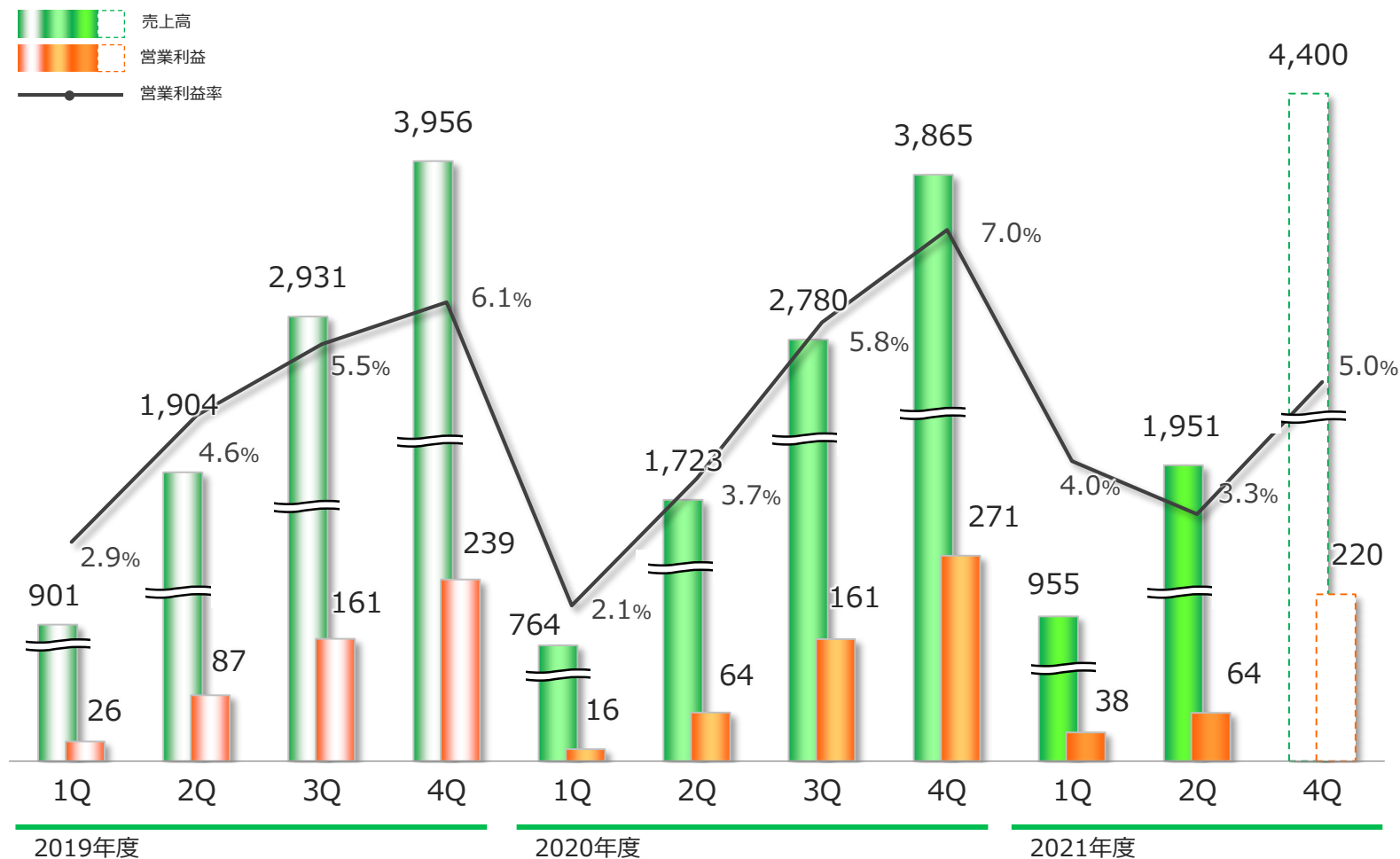
➤ DBJ健康格付の最高ランク「従業員の健康配慮への取り組みが特に優れている」を取得

原材料価格の推移



売上高・営業利益・利益率推移

(億円)



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。